

# 農作業中の事故に注意 ノーマス ノー事故 農作業

2017年秋の農作業安全確認運動（9月1日～10月31日）を実施しています。

農作業事故をなくすため、特に次のような点に注意しましょう。

- ・稲わら焼却による事故、煙の視界不良による事故を防ぐため、すき込みなどの有効活用を図る。
- ・トラクター等での作業後は、必ず泥を落としてから道路に上がる。
- ・農地出入口や傾斜地でのトラクター等の転倒・転落に注意する。
- ・トラクター等には反射板や低速車マークを取り付け、後方から追突されないよう十分注意する。
- ・農業機械の修理・点検や稲わら等を除去する時は、必ずエンジンを停止する。
- ・また、作業に適した服装で作業する。
- ・早朝や夜間の農作業は、極力行わない。
- ・刈払い作業では、シールド・ゴーグル・すねあてを装着する。
- ・適度な休憩をとり、ゆとりをもって作業する。



## ◎問い合わせ

本庁 農業振興課 施設整備支援係  
☎40・71119 FAX 40・7391  
または各支所総務・地域振興グループ

# その数日本一！ 佐賀の恵比須さん⑦

佐賀の恵比須さんは、1172年に、兵庫県のえびす宮総本社・西宮神社から北川副の西宮社へ分霊を受けたことが始まりと言われています。

西宮神社の宮司さんが佐賀に来られたとき、830体を超える恵比須像があること、現在も新たに増え続けていること、とても感動され、「これからもぜひ大切にしたい」と話されました。

恵比須さんが祭られ、参拝の証である御朱印をいただける神社を紹介したマップ「さがの恵比須 御朱印巡り」を配布しています。

また、西宮神社の特別協力により、西宮神社の御朱印付御朱印帳（有料）も開運さが恵比須ステーションで取り扱っています。

恵比須さんをテーマに佐賀の神社巡りはいかがですか？



## ◎問い合わせ

佐賀市観光協会  
☎20・22000 FAX 28・5656  
✉info@sagabai.com

# あなたの人権 わたしの人権

## 「高齢化社会と高齢者の人権」

最近、「高齢化社会」や「高齢者の人権問題」の話が大変気になります。それは、私自身が団塊の世代の最後の年代にあり、高齢者の仲間入りをしたからです。

「高齢化社会」とは、総人口に対する65歳以上の人口の比率が7%以上の社会を言い、14%を超えると「高齢社会」、21%を超えると「超高齢社会」と言われます。

平成29年版高齢社会白書によれば、日本の高齢化率は27.3%で、4人に1人が高齢者という超高齢社会となっています。

こうした状況の中、高齢者の人権問題はどのようなものがあるでしょうか。

「佐賀市人権・同和問題に関する市民意識調査報告書（平成28年3月）」から、『悪徳商法などの被害者になること。経済的な自立が困難なこと。虐待を受けること。働く場所が少ないこと』が特に問題であると考えられます。

このような問題を解決するためには、自分もやがては高齢者になるということを認識し、自らの問題としてとらえることが重要です。誰でも高齢になると運動能力や判断力が低下し介護や支援が必要になることを理解して、高齢者をいたわり大切にすることを育んで欲しいと思います。



「寿命」や「長寿」の言葉に象徴されるように「長命を保つ」ことは、喜ぶべきこと、幸せなことです。高齢者の持つ豊かな知識と経験が生かされる社会であり、生きがいを持って生活できる偏見や差別のない社会を実現したいものです。

（社会同和教育指導員・大島 信行）  
※市ホームページにも掲載しています。

毎月11日は「人権を考える日」です

## ◎問い合わせ

人権・同和政策課 人権啓発係  
☎40・7367 FAX 34・4549  
✉jinken@city.saga.lg.jp